

【No. 1】小売業の変遷に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか**

1. 1953年日本初のセルフ型食品店として開業したのは紀ノ国屋である
2. 1968年にスーパーマーケットが百貨店の売上を抜いてから現在に至るまでその市場規模は維持されている
3. 1970年に日本初のファミリーレストラン「デニーズ」を設立したのはイトーヨーカ堂である
4. ダイエーは1975年に「ローソン」を設立し、コンビニ業界に進出した

答. 3

【No. 2】織豊政権や戦国大名によって支配下の城下町などの市で行われた経済政策である「楽市・楽座」に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか**。

1. 円滑な流通の妨げとなる特権的、排他的な組織を否定した
2. 商工業者を誘致するため、規制を緩和し自由営業を保証した
3. 取引税や諸役の免除を行い、商業活動を活性化させた
4. 自国の商人の利益を優先し、他国の商人の往来に制約を加えた

答. 4

【No. 3】江戸時代における商業は、幕府をはじめ、藩、寺法人需要に対する商取引が中心であった。その江戸時代の商業を支えた「三大商人」に関する次の記述のうち、**最も適当なものはどれか**。

1. 大阪商人、近江商人、伊勢商人
2. 大阪商人、近江商人、江戸商人
3. 京都商人、大阪商人、近江商人
4. 大阪商人、近江商人、尾張商人

答. 1

【No. 4】日本で初めての万国博覧会が開催された 1970 年代に起こった事象に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. 2 度にわたるオイルショック
2. 小口貨物の翌日配達サービスが開始
3. POS システムの試験導入
4. 現金支払機 (ATM) の設置

答. 4

【No. 5】第二次大戦後から現在までの間に、わが国の商業政策の中から制定された以下の A、B、C、の法律について、制定された時代順を示す次の組合せのうち、**最も適当なものはどれか。**

- A: 大規模小売店舗立地法(立地法)
B: 小売商業調整特別措置法(商調法)
C: 大規模小売店舗の事業活動の調整に関する法律(大店法)

1. B → C → A
2. A → C → B
3. C → A → B
4. A → B → C

答. 1

【No. 6】マーケティング戦略の実践について、市場から成果を引き出すための複数の要素に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. 製品計画
2. 市場調査情報
3. ブランディング
4. 無店舗販売

答. 4

【No. 7】 米国の経営学者フィリップ・コトラーが分類した無店舗の定義に関する次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 訪問販売
2. 自動販売機
3. 仮想商店街
4. 自動販売レジ

答. 4

【No. 8】 次の文章の に入る語句として、**最も適当なもの**はどれか。

『世界的な商業施設の店舗縮小や業態変更が進んでいるが、価格やプロモーションだけでは潜在顧客の掘り起こしが困難になってきた。新しい市場創出のための が重要な課題となる。』

1. サービス開発
2. 価値の提供
3. 商品構成
4. 顧客分析

答. 2

【No. 9】 コンビニエンスストアに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. キャッシュレス導入
2. 無線 I C タグの導入
3. 来店客のパーソナルデータの取得
4. 営業時間の見直し

答. 3

【No.10】 消費税に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 2018 年 10 月に 8% から 10% への税率引き上げと同時に、複数税率(軽減税率)を導入した
2. 日本で初めて消費税が導入されたのは 1989 年で、税率は 3% に定められた
3. 消費税が 3% から 5% に引き上げられたのは 1997 年である
4. 2014 年に消費税率は 5% から 8% へ引き上げられた

答. 1

【No.11】 消費者のモノ離れ傾向や生活のサービス化等のなかで、様々な「サービス商品」が発達している。サービス商品の特性に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 在庫としてストックしておくことが出来ない
2. 標準化、規格化によって商品の均質化が図れる
3. 商品の「生産」と「消費」が同時に行われる
4. 事前に展示したり、配送することができない

答. 2

【No.12】 色彩に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. カラースキームとは、色彩計画のことで、どのような色を使用するかを示したものである
2. 色彩ガイドラインは、環境整備・美化を目的に、自治体が一定の推奨される色彩を示したものである
3. トーン（色調）とは、明度と彩度を併せた概念のことで、明るい、華やかな、暗いなどの色の調子を形容するものである
4. 光の三原色は、シアン・マゼンタ・イエローの掛け合わせによる減色混合である

答. 4

【No.13】 現在では当たり前のように日常利用されている「インターネット」が、わが国において初めて民間開放された年と、同年に起きた主な経済・社会動向に関する記事の記述のうち、最も適当なものはどれか。

1. 1983 年（昭和 58 年）：日本初の家庭用ゲーム機が発売
2. 1989 年（平成元年）：消費税導入
3. 1991 年（平成 3 年）：バブル崩壊
4. 1995 年（平成 12 年）：WINDOWS95 発売

答. 3

【No.14】 次の文章の に入る語句として、最も適当なものはどれか。

『現在導入が進み始めている次世代ネットワーク技術は、家庭や公共交通・商業施設をオンラインで結び、 機器の導入によりリアルタイムに情報を共有するビッグデータを活用することで、需要と供給を的確に把握することができる。』

1. ICT
2. 電子決済
3. 個人認証
4. IoT

答. 4

【No.15】 地方都市などで地域活性化の拠点としても注目され、国土交通省の所轄施設である「道の駅」の設置要件の付帯施設に関する次の記述のうち、**最も不適當な**ものはどれか。

1. 24 時間利用可能な、一定数の駐車スペース
2. 24 時間利用可能なトイレ、電話設備
3. 幹線道路の交通情報を提供するコーナー
4. 地域防災拠点としての防災用品の備蓄倉庫

答. 4